

学士力	学習目標 (学科DP)	コンピテンシー	学習成果 (LCOs)	マイルストーン (3段階)		
				Phase I	Phase II	Phase III
教養	人間性に富む豊かな教養【教養】 医療人・医学研究者としての高い倫理観と幅広い国際的な教養、豊かな人間性を身につけ、病める人や立場・職種の異なった人の話を傾聴し共感できる。	多様性を理解・受容する力	修得した幅広い教養を基盤に、人々の多様性を理解し、これを受け入れることができる。	人々の多様性と、これを生む要因について説明することができる。	患者背景の多様性とこれを生む要因について説明することができる。	臨床場面において、患者背景の多様性に配慮した対応ができる。
		多角的・論理的に考える力	問題を様々な視点から捉え、慎重かつ論理的に考えることができる。	社会的な問題を多角的に検討することができる。	基礎・臨床医学で学んだ知識を論理的に繋げて理解することができる。	臨床場面で直面した問題を多角的な視点から考えることができる。
		医療人としての倫理力	医療人としての規範を理解し、医療・研究現場の秩序を守ることができる。	社会的に適切な倫理規範に基づく行動ができる。	医療人として、医療倫理に関わる事項について説明できる。	医療人として、倫理的に適切な行動を行うことができる。
		医療人として共感力	患者やそれに関わる人々の話を傾聴し、相手の気持ちを理解して気遣うことができる。	他者の意見に耳を傾け、共感することができる。	医療人として、共感的態度で対応することの意義を理解する。	医療人として、患者・家族の話を傾聴し、共感的態度で対応することができる。
専門性	医療人・医学研究者として必要な専門的知識と実践的能力を身につけ、獲得した知識と能力を活かしてグローバルに活躍できる。	生命科学の学術的知識	人体の構造と機能、疾病の成り立ち、予防と治療について深く理解し、説明できる。	人体の恒常性維持とその破綻について概説できる。	疾患の成り立ちとその予防・治療について概説できる。	基礎医学と臨床医学の知識を、臨床場面で活用できる。
		専門的な知識を基盤とした創造力	専門的な知識のもと、新たな発見にむき意欲的に取り組むことができる。	課題の発見を目指して、意欲的に研究に取り組むことができる。	医療・医学の発展における、研究の重要性を概説できる。	臨床場面における疑問点を意欲的に探究することができる。
		社会・環境に対する医学的アプローチ	医学的視点から、人々が健康に過ごせる社会・環境づくりに貢献できる。	社会・環境に関する情報を正しく理解する。	社会・環境が人の健康に与える影響について概説できる。	社会・環境づくりの視点から、患者の健康維持について考えることができる。
		基本的な実践的診療能力	指導医の指導・監督のもとで基本的な診療を実践できる。	基礎医学の知識が、病態の理解に重要であることを概説できる。	模擬診療において、基本的な臨床技能を実践できる。	臨床現場で、指導医の指導・監督のもとで基本的な診療を実践できる。
情報力	医学的情報を収集・分析し、的確な判断のもと課題解決にむけて正しく活用できるとともに、グローバル社会に向けて適正かつ効果的に情報発信できる。	情報収集力	様々な情報に興味・関心をもち、適切な手段を用いて情報を獲得できる。	問題解決を行うために必要な情報を広く収集することができる。	疾患の理解を行うために必要な情報を収集することができる。	問診・身体診察・検査等を用いて患者の情報を多角的に得ることができる。
		情報分析・判断力	収集した情報の質を適切に評価・分析し、正しい判断を下すことができる。	収集した情報の信頼性・妥当性を把握できる。	EBMの観点から、収集した情報の信頼性・妥当性を把握できる。	患者情報をもとに適切な病態の把握を行うことができる。
		情報活用力	獲得した情報を正しく効果的に活用できる。	収集した情報を問題解決に役立てることができる。	EBMの観点から、収集した情報を疾患への理解に活かすことができる。	患者情報を治療方針の検討に役立てることができる。
		情報共有力	情報を仲間やチームで共有し、よりよい医療の実現に結びつけることができる。	収集した情報を適切な形で効果的に共有することができる。	収集した情報を、疾患の理解に活用できる形で共有することができる。	患者情報を医療チーム内で適切に共有することができる。
行動力	高い協調性のもとに世界に通用する専門職業人としての指導力を発揮し、多職種医療チームの一員として責任をもった行動と状況に応じた柔軟な対応ができる。	チームの一員として役割を果たす力	チームの中で自らの役割を見出し、責任をもって役割を果たすことができる。	集団内で自らの役割を見出すことができる。	チーム医療の重要性を概説することができる。	臨床実習において、医療チーム内で、自らの役割を果たすことができる。
		地域・国際的な医療貢献	地域・国際社会の一員として、医療を通してコミュニティに貢献できる。	異なる地域や社会への理解を深めることができる。	地域や世界の医療・保健の現状・課題を概説できる。	地域・国際社会での医療に触れることで、地域・国際貢献の土台とすることができる。
		問題を発見・解決する力	積極的に問題を見出し、適切な改善策を講じることができる。	問題を見出し、これを超えるために研究を行うことができる。	社会医学的問題を見出し、改善策を提案できる。	臨床実習を通して診療上の問題点を見出し、改善策を提案できる。
		他者を育てる力	チームの一員として、他者を教え、育てることができる。	グループ学習等において、参加者が成長できる環境づくりに貢献できる。	グループ学習等で、お互いに教えあうことができる。	臨床実習場面で、後輩等への適切な指導が実施できる。
自己実現力	絶えず医療の質の向上に努め、生涯にわたり自己の成長を追求できるとともに、グローバルな社会のニーズに対応した持続可能な医療を実現できる。	自己を研鑽する力	医学・医療を究めるために、自ら目標を設定し、達成にむけて取り組むことができる。	生涯にわたって継続的に学修することの重要性を説明できる。	生涯にわたる学習の土台として、主体性に学習することができる。	臨床実習で経験したことを振り返り、自己の課題を明確にする。
		自己を啓発する力	自らの意思で、自身の能力向上や精神的な成長を目指すことができる。	医療人としてふさわしい人格像について述べるることができる。	自らの行動を客観的に評価することができる。	医療人に相応しい人格を目指して研鑽できる。
		セルフケア能力	自らのストレスや心の健康状態について正しく認識し、対処できる。	こころとからだの健康の重要性について概説できる。	自分の健康状態を正しく把握することができる。	自分の健康状態を良好に保つために、適切な対応ができる。
		キャリアマネジメント能力	明確な目標を立て、目標に達成にむけ行動し、人として成長し続けることができる。	目標とする医師像を思い描き、これに近づくための計画を立てることができる。	目標に近づく努力する中で、成長できる。	自らが置かれた環境の中で成長する努力を続けることができる。